

暮らしの便利帳2025を発行!

各種手続方法や問い合わせ窓口等を掲載している住民向け情報誌「暮らしの便利帳」を新しく発行しました。自治会等を通して、広報誌11月号と一緒に配布しております。転入される方や希望される方は、役場1階住民環境課で配布しています。発行に関しては総務課までお問い合わせください。



発行しました。自治会等を通して、広報誌11月号と一緒に配布しております。転入される方や希望される方は、役場1階住民環境課で配布しています。発行に関しては総務課までお問い合わせください。

《お問い合わせ》
総務課 ☎098-998-2200

祝!八重瀬町生誕20周年 ～記念給食～

2006年1月1日に旧東風平町と旧具志頭村が合併して八重瀬町が誕生しました。20周年を児童生徒と祝うために記念給食を下記の日程にて配膳します。

献立メニューに関しては、日頃食べられない、また、児童生徒がみんなで食べられて一緒に喜び合せて八重瀬町制施行20周年を祝うようなメニューを企画中です。どうぞ期待ください。



20周年記念
給食実施日
令和8年1月6日(火)

《お問い合わせ》
学校教育課 ☎098-998-7571

ご芳志ありがとうございます

八重瀬町社会福祉協議会へ

- 八重瀬町字屋宜原104番地の屋宜仁様より
故祖父 屋宜宣貞様の香典返しとして
金 20万円のご寄付がありました。
- 八重瀬町字志多伯194番地の神谷八重子様より
故夫 神谷俊明様の香典返しとして
金 5万円のご寄付がありました。
- 八重瀬町字東風平631番地の屋富祖トシ様より
故夫 屋富祖正吉様の香典返しとして
金 5万円のご寄付がありました。

八重瀬町人材育成基金へ

- 八重瀬町字屋宜原104番地の屋宜仁様より
故祖父 屋宜宣貞様の香典返しとして
金 20万円のご寄付がありました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS ～企業版ふるさと納税～

●シエンプレ株式会社
(東京都港区赤坂4-2-19 赤坂SHASTA・EAST8F)
佐々木 寿郎 様より
寄附金額 10万円

ご寄附
ありがとうございます!



企業版ふるさと納税は、企業の皆さまが寄附を通して、町が行う地方創生プロジェクトを応援いただいた場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。

企業版ふるさと納税について



時間額

1,023円

沖縄県最低賃金
令和7年12月1日から

問 沖縄労働局 賃金室
☎098-868-3421

広告欄

おかげ様で創業32年 不動産の無料査定実施中!

求む物件!賃貸から売買まで!

不動産売却をお考えの方をご紹介します。
最大 **10万円** 進呈 致します。
(弊社でご成約の場合に限ります)

こんな方は是非ご相談ください。

- 早急に売りたい・貸したい ■売却するが貸すか悩んでいる
- 相続財産について悩んでいる ■差押え競売前に相談したい

売土地 広さや地目、現況は問いません。(古家付・更地・平地・田畑など)

売家 どのような家でもご相談ください。(広さ・築年数・平屋・2階建て・店舗付など)

売マンション 何階建ての何階部分、占有面積、築年数、立地など、関係なくご相談ください。

貸家 転売中のお貸し先もご紹介できますので、ご相談ください。

株式会社 東洋ハウジング イオンタウンとよみ近く 〒901-0205 豊見城市字根差部587 営業時間 9:00~17:00 土日祝 10:00~17:00 TEL.(098)850-4722

やえせの昔話 ⑥ 豚化け美女

字志多伯 出身

【話者】大正8年生 男性
昔むかしの話だね。豚がね、人間に化けたという話をちよっぴり聞いたんですよ。

昔はね、若い男女がさ、よくモーアシビー(毛遊び)というのを、まあ盛んにやってた。その頃の話になるんですけども……。

日中の仕事を終えた若者たちが、夕暮れ過ぎた頃に広場に集まっているとね、とても美しい女性がそこに現れた。

みんなで一緒に歌って踊っている、その女の人が手拍子しながらね、何やらこんな掛け声をするわけさ。

「シーグーグー、シーグーグー」って。

「このお嬢ちゃんは顔、姿は美しいけれども、踊りながら手拍子の時に『シーグーグー、シーグーグー』と言うんだよね、おかしいなあ」と気になったくらいで、若者たちは一緒に最後までモーアシ

ビーを楽しんだ。

モーアシビーが終わる、それだけが家に帰るなか、その娘さんも帰って行くのだけれども、その時また「シーグーグー」しながら数の中に消えていった。

みんなで「これはおかしいなあ」ということで話をしていたら、若者の一人が「豚みたいに四つ足で這って敷の中に入ってしまった」と言っただ。

それで豚も、たまにはこうして人間に化けて遊びに来るんじゃないかという話を聞いたんですよ。

まあ、こころへんのお話で終わりたいと思います。

今回、掲載した昔話は昭和57～59年に八重瀬町内各字の皆様のご協力を得て収集した昔話の内一話です。「八重瀬町伝承話資料保存継承事業」(令和5、6年度)の一環で使用許諾を得られた話を紹介しました。
ホームページでも多数昔話を紹介しています。ぜひアクセスして他の昔話もご覧ください。



資料館 ホームページ

《お問い合わせ | 社会教育課 文化班 | ☎098-835-7500》